

守山市都市計画マスタープラン改訂における市民アンケート分析

建築都市デザイン学科 2280120068-4 西村 沙絵

(指導教員 及川 清昭 教授)

1. はじめに

守山市では、都市計画に関する基本的な方針である「守山市都市計画マスタープラン(平成19年7月策定)」を改訂する取り組みが進められている。市民の声をより反映させるために行ったアンケートを分析し、これからのまちづくりで目指すべき目標や土地利用、都市施設の整備方針等を明らかにするための研究である。

2. 研究概要

(1) アンケート調査の概要

守山市全域を対象として分析する。その際、「北部市街地地域 (Aゾーン)」「中部田園地域 (Bゾーン)」「南部市街地地域 (Cゾーン)」の3つのゾーン(図1)に分類し、アンケートを行った。地域を構成する16項目に対する[満足度]と[重要度]について5点(非常に良い)、4点(良い)、3点(普通)、2点(悪い)、1点(非常に悪い)として集計した結果[満足度]を表1に示す。

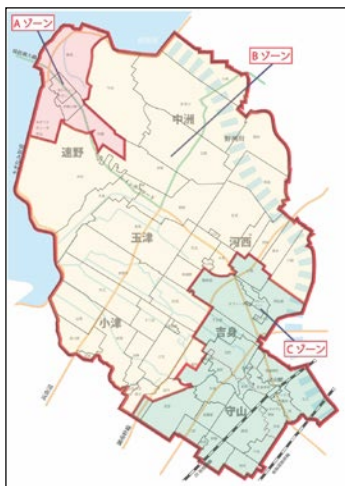


図1 調査範囲区分図

3. 市民アンケート結果のCS分析

地域別、性別、年代別に分析をした結果、[満足度]における地域別による分析結果に大きな違いが見られた(図2)。Bゾーンを例に取り上げると、公共交通の利用のしやすさや買物のしやすさについて、重要度は高いにも関わらず満足度は非常に低かった(図3)。

表1 平均点 (アンケート Q3 [満足度])

	市全体	Aゾーン	Bゾーン	Cゾーン
住宅などの住みやすさ (居住環境)	3.62	3.68	3.39	3.78
商店街などの買物のしやすさ	3.04	3.26	2.40	3.45
道路沿い(沿道)での買物のしやすさ	2.88	3.01	2.50	3.13
工業地と周辺環境との調和	3.18	3.22	3.09	3.22
リゾートや遊び等を通じたくつろぎやすさ	2.98	3.33	2.73	2.87
地域の個性に繋がる歴史資源が多い	2.90	2.63	2.98	3.10
田畑が良く保全・利用されている	3.26	3.23	3.43	3.11
公共交通の利用のしやすさ	2.46	2.15	2.02	3.21
道路や交通施設の利用のしやすさ	2.89	2.80	2.60	3.27
公園緑地が多く利用しやすい	3.23	3.45	3.04	3.20
上下水道等の整備が整っている	3.70	3.68	3.61	3.82
教育施設(保育園~高校)が十分である	3.13	2.75	3.20	3.43
自然の景観が美しい	3.61	4.00	3.58	3.25
建物の景観が整っている	3.05	3.08	3.08	2.99
文化施設が十分である	2.78	2.63	2.79	2.92
都市防災対策の対策が十分である	2.95	2.86	2.97	3.02

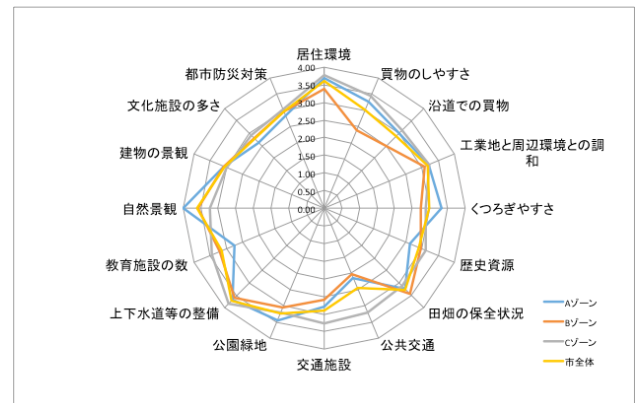


図2 ゾーン比較グラフ [満足度]

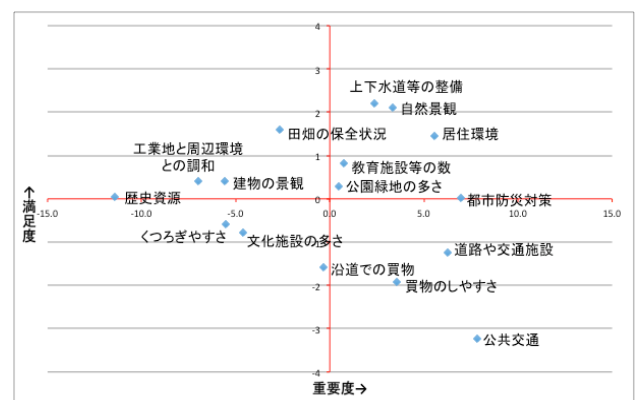


図3 CS グラフ [中部田園地域 (Bゾーン)]

4. 市民アンケート結果の主成分分析・クラスター分析

アンケート 16 項目における [満足度] [重要度] の点数を用い、それぞれ主成分分析・クラスター分析を行った。以下に [満足度] の結果をまとめる。

(1) 主成分分析結果

本研究では、住みやすさの評価構造を把握するため主成分分析を行う。主成分 5 で固有値の累積寄与率が 60%を超えるので、主成分 5 までの主成分得点を用いてクラスター分析を行うこととする。

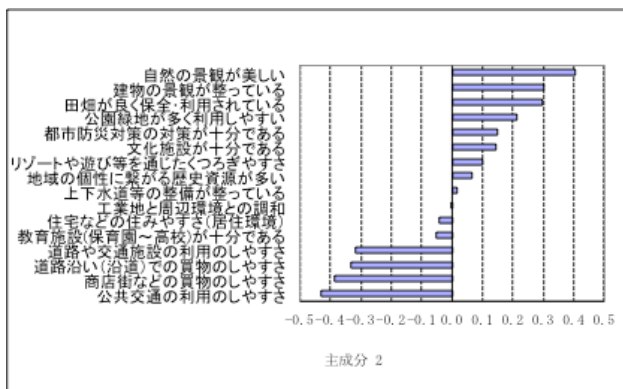


図 4 主成分 2 固有ベクトル

図 4 を見ると、主成分 2 においては、自然や景観の美しさと、生活における利便性に相反した関係があると推測される。同様に、[重要度] においても分析・考察した。

(2) クラスター分析結果

主成分得点を基にクラスター分析を行った。その結果を表 2 に示す。

表 2 クラスター分類表

クラスター 1	地域の個性に繋がる歴史資源が多い 上下水道等の整備が整っている 教育施設(保育園～高校)が十分である 文化施設が十分である 都市防災対策の対策が十分である
クラスター 2	田畑が良く保全・利用されている 公園緑地が多く利用しやすい 自然の景観が美しい 建物の景観が整っている
クラスター 3	住宅などの住みやすさ(居住環境) 工業地と周辺環境との調和 リゾートや遊び等を通じたくつろぎやすさ
クラスター 4	商店街などの買物のしやすさ 道路沿い(沿道)での買物のしやすさ
クラスター 5	公共交通の利用のしやすさ 道路や交通施設の利用のしやすさ
除外	なし

クラスター 1 は、『防災・文化・教育』として分類することができる。子どもたちを守るための防災対策や、継承されるべき歴史資源、文化施設の充実について関係が深い可能性が高い。クラスター 2 は、『景観・緑地』として分類することができる。田畑、公園などは美しい景観づくりに必要不可欠な要素であると推測される。クラスター 3 は、『住みやすさ・娯楽』として分類することができる。工場地と住宅地は、くつろぎやすい快適な生活を送るために特に考えるべき関係であると推測される。クラスター 4 は、『買い物』として分類することができる。クラスター 5 は、『交通』として分類することができる。

5. まとめ

市民が最も改善の必要があると考えている項目は、公共交通や交通施設の利用のしやすさなどの交通に関わるものであり、それに次いで都市防災対策の改善欲求が高いと分かった。特に目立つ課題として、A ゾーンと B ゾーンにおける公共交通の利便性についての満足度は極めて低く、交通の利便性を向上させる対策が必要である。また、B ゾーンにおける買い物のしやすさについての満足度は他ゾーンと比較すると低く、商業施設の増設が必要である。性別、年代別では満足度、重要度共に大きな差異はないことが分かったが、地域別での改善欲求の違いが明らかになったので、早急に対策をとる必要がある。クラスター分析結果については、今回の結果を基に更に追求していくと更に深い見解が見られると考えられる。

参考文献

- 1) 守山市都市計画基本方針 守山市都市計画マスタープラン(守山市 2007 年 7 月 2013 年 9 月一部改訂)
- 2) 山下博康 他 中心部における居住者の行動特性と居住形態にみる街なか居住の優位性の評価その 2 (日本建築学会大会学術講演梗概集(九州) 2007 年 8 月)
- 3) 建築・都市計画のための調査・分析方法(日本建築学会編)